

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		上北台公民館事業費 [上北台公民館事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	事業番号	6			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央公民館			課	上北台公民館			係	課長名	佐伯芳幸	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1-2・5-3		
【施策名】 生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立								総合計画書 (ページ)	35・110		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				上北台地区の人口						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
地域で、学習の場に参加できる。				①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(3月末現在)							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤上北台公民館だよりの発行				①利用者連絡会等開催回数 ②講座開催回数 ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤上北台公民館だよりの発行回数							
→											
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	人	4,559	4,619	4,582					
	成果指標	②の数値	①人 ②人 ③グループ	①2,343 ②24,403 ③79	①2,576 ②23,858 ③74	①2,113 ②21,914 ③62					
	目 標	②の目標値									
	目標値設定の考え方 成果指標(②)が増加することを目標とする										
活動指標	③の数値	①回 ②回 ③回 ④% ⑤回	①24 ②37 ③4 ④61.9 ⑤3	①17 ②42 ③4 ④65.6 ⑤3	①16 ②41 ③4 ④63.2 ⑤3						
3 経費	事業費(実績)		円	3,177,904	3,347,429	3,801,063	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	3,066,424	3,252,759	3,696,573					
		特定財源	円	111,480	94,670	104,490					
		(うち受益者負担)	円	111,480	94,670	104,490					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	16,506,000	16,488,000	16,620,000					
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0						
事業費+人件費		円	19,683,904	19,835,429	20,421,063						
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度								
	(2) 環境の変化		平成5年5月10日、市内5番目の公民館として開館。 平成27年10月より、公共施設予約システムを導入。 講座後に新たに自主活動を始めるグループもあるが、利用者は高齢化している。								

事業名称	上北台公民館事業費 [上北台公民館事業]			
担当部署・課長名	中央公民館	課	上北台公民館	係 課長名 佐伯芳幸

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	公民館有料化などについて市で検討されていることに対し、随時情報を利用者に知らせてほしい等の要望が寄せられた。		
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）		
	☒ 取り組んだ	取組手法：①、②、③、⑤、⑥、⑦	
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点		
	日頃から利用者とのコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を築いていくことが、さらに適した協働の形態とするために必要で		
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記） 今後も、勤労世代や若い世代を取り込む講座等を実施していく予定であるが、勤労世代が参加しやすい夜間などは予算面の措置もあるため検討していく必要がある。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 勤労世代や若い世代が参加しやすいように、土曜日の設定で講座や事業を開催するように努めた。		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 講座や事業の設定を土曜日などにしても、こちらの意図した世代の参加が少なく、ニーズに合った内容になっているかについて検討する必要がある。		
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）		
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 勤労世代や若い世代が関わっている未来大学事業を中心に、同世代のニーズを探り、実現に向けた取り組みを検討する。		
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	公民館全体の課題でもあるため、職員会議などで課題解決のために議論する機会を設けていく必要がある。		